

第32回高柳賞贈呈式が2018年12月16日 ホテルクラウンパレス浜松において行われました。



第32回 高柳賞贈呈式 公益財団法人 浜松電子工学奨励会 平成30年12月16日 於 ホテルクラウンパレス浜松

### 受賞者

#### ■高柳記念賞

氏名 星 詳子 (ほし ようこ)

所属 浜松医科大学 光先端医学教育センター

職 教授

研究課題：「近赤外線を用いたヒト生体機能イメージング技術の開発と応用」

#### ■高柳研究奨励賞

① 氏名 伊東 聡 (いとう さう)

所属 富山県立大学 工学部

職 准教授

研究課題：「表面相互作用力検出型マイクロプローブの開発と三次元精密計測に関する研究」

② 氏名 仙石 哲也 (せんごく てつや)

所属 静岡大学 工学部

職 准教授

研究課題：「光応答型単電子移動機構に基づく新奇な有機分子構築法に関する研究」

- ③ 氏名 服部 知美 (はっとり さとみ)  
所属 静岡理工科大学 理工学部  
職 准教授

研究課題：「地球環境問題を配慮した高効率・低振動モーターの研究開発」

- ④ 氏名 本蔵 直樹 (ほんくら なおき)  
所属 浜松医科大学 医学部  
職 助教

研究課題：「高次高調波発生顕微鏡を用いた非侵襲生体計測の確立」

中日新聞  
2018年12月17日朝刊

### 星教授(浜松大)ら「高柳賞」

中区で贈呈式



電子科学分野で顕著な業績を上げた研究者や団体をたたえる「第三十二回高柳賞」の贈呈式が16日、浜松市中区のホテルクラウンパレス浜松であり、星祥子・浜松医科大学教授に記念賞が贈られた。

世界中で初めてブラウン管に映像を映し出した故高柳健次郎の功績を記念し、浜松電子工学奨励会が賞を設けた。星教授は、近赤外線での人の血糖値や代謝の機能を可視化し、がんなどの診断につながる技術の開発に尽力した。

煙中義式理事長が「日本の電子技術が、テレビ技術をもつて世界平和を先導するようになった」といふ。記念賞、研究奨励賞を受けた五人に賞状などを手渡した。

受賞者を代表し、星教授が「二十年の研究をやってきた。本心に光栄」と語った。(古根村進然)

研究奨励賞を受けたのは、▽伊東聡・富山県立大准教授、仙石哲也・静岡大准教授、服部知美・静岡理工科大准教授、本蔵直樹・浜松医科大助教

高柳記念賞を受け、表彰される星祥子教授等＝浜松市中区のホテルクラウンパレス浜松で

静岡新聞  
2018年12月18日朝刊

### 星教授(浜松大)に高柳記念賞

電子研究で顕著な業績 4人に奨励賞

「テレビの父」と称される故高柳健次郎氏の功績をたたえ、電子科学分野で顕著な業績を挙げた研究者を表彰する第32回高柳賞贈呈式が16日、浜松市中区のホテルで開かれた。浜松医科大学先端医学教育研究センターの星祥子教授が高柳記念賞「受賞は私だけでなく、仲間の研究推進力になる」とさらなる研究の発展に決意を新たにしていた。

若手研究者4人に高柳研究奨励賞も贈られた。

受賞者は次の通り。伊東聡(富山県立大工学部准教授)、仙石哲也(静岡大工学部准教授)

授 服部知美(静岡理工科大理工学部准教授) 本蔵直樹(浜松医科大医学部助教)



高柳記念賞の表彰を受ける星祥子教授＝16日、浜松市中区